

子どもたちの感じる力 子どもたちが伝える力

被災地にとどけ隊(逗子市)



①「笑顔届けたい」と表紙の齋田さん  
 ②取材日は、チームの旗づくりの真っ最中！  
 ③④ソーラン節を教える「逗子ホームせせらぎ」の加藤麻衣子さん。「元気でひたむき。子どもたちの成長に驚かされます」

「被災地にとどけ隊」は、逗子市内の小・中学生による、よさこいソーラン節の踊り子チームです。活動のきっかけは、昨年11月。子どもたちの交流を中心に企画された、宮城県陸前高田市応援交流イベント「つないで陸高！なじよにがすっぺ」(逗子市・逗子市社協共催)に向けてチームが結成されました。イベント終了後も、そこで出会った陸前高田市立米崎小学校との交流を深め、同校に伝わる重倉太鼓の応援を続けようと、福祉施設や地域の行事などで踊りを披露し、募金を呼び掛けている。

「なじよにがすっぺ」とは「何とかしよう」「頑張ろう」といった意味の言葉で、子どもたちの演舞になつてほしいという思いが込められています。踊りの指導は、市内にある特別養護老人ホーム「逗子ホームせせらぎ」の職員有志による「よさこいソーラン部」が協力し、市社協の連絡調整のもとで、活動の場を広げました。毎月1回の集会では、踊りの練習のほか、支援金の集まり具合や今後の活動について、子どもたちが話し合います。6月までに「被災地にとどけ隊」が集めた支援金はおよそ5万円。夏休みには共同募金配分金を受けて、チームとして初めて、陸前高田市を訪問する予定です。

「募金を使わせてもらうことで、今度は僕たちが東北の仲間に行ける。みんなが



各種イベントへの出演依頼もお待ちしています！

◆(福)逗子市社会福祉協議会  
 逗子市榎山5-32-1  
 ☎046-873-8011 FAX046-872-2519

災地にとどけ隊」が集めた支援金はおよそ5万円。夏休みには共同募金配分金を受けて、チームとして初めて、陸前高田市を訪問する予定です。

「募金を使わせてもらうことで、今度は僕たちが東北の仲間に行ける。みんなが

感じてきたことを、どうしたらうまく持ち帰ってこられるかな」

市社協の服部誠さんの声掛けに「頑張らなきゃね」と力を込める子どもたち。「陸前高田市で聞いた話をメモして発表する」「写真を撮ってポストカードにして、募金を集める」「東北の人たちの笑顔の写真をたくさん集めて、写真展を開く。そこでみんなまで踊ろうよ」など、次々とアイデアが飛び出しました。

子どもたちの感じる力、子どもたちの伝える力は地域を巻き込み、これからの息の長い復興支援へとつながろうとしています。

(企画調整・情報提供担当)

※この事業は、(福)神奈川県共同募金会からの配分金により、実施されています



1社で全て揃えます！

広報掲示板・防災用品・防犯用品  
 テント・リヤカー・テーブル・のぼり旗  
 お祭り用品(太鼓・提灯・神輿・裃天  
 綿菓子機・ポップコーン機・裃天)等々  
 ◇助成金申請等のお手伝いもしております◇

\*お気軽にお問合わせください\*

地域活動に貢献する

株式会社 **地域シタワーク**  
 全国フリーダイヤル: 0120-457-041  
<http://www.chounaikai.com>

福祉施設・団体のホームページ制作ならお任せください。

ホームページを強化しませんか？

- ◆利用者、求職者からの問合せを増やしたい
- ◆地域住民の利用率を高めたい
- ◆写真を変えてイメージアップを図りたい

■弊社の制作実績



<http://www.knsyk.jp/>  
 公共機関、全国・都道府県社協等



株式会社ディレクターズクラブ 横浜市中区山下町1番地シルクセンター9階  
 電話: 045-650-1355 メールアドレス: shoji@directorsclub.co.jp 担当: 東海林  
 ホームページ: <http://www.directorsclub.co.jp/> からもお問合わせいただけます。

「福祉タイムズ」は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています